

ピラミッドアジサイを長く楽しむための品質管理技術(生産者向け資料)

～秋色アジサイ～

◎ピラミッドアジサイとは

アジサイ科の植物で、和名はノリウツギと言います。夏から秋にかけて円錐形の花が咲き、花色は白色から薄紅色に変化する特徴があります。花色を変化させたピラミッドアジサイは「秋色アジサイ」として流通します。

◎山梨県の子な品種

- ・ライムライト: 切り花、鉢花で最も生産量が多い山梨県の主力品種。薄いグリーンの花色が特徴。
- ・「山梨24-1」: 秋に鮮やかな赤紫になるのが特徴。2019年に「ふじさんアジサイ'あかね」で販売予定。

◎品質保持方法

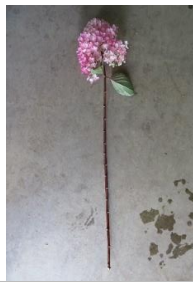
○用意するもの

ハサミ、ものさし、バケツ、水、計量カップ、前処理剤(クリザール プロフェッショナル、美咲ファーム) 輪ゴム、新聞紙、ホチキス、ELFバケツ(付属品:T-Bag、出荷カード)

○手順 採花



前処理



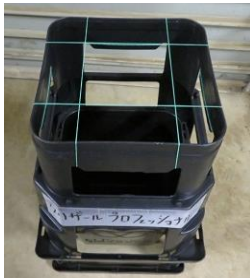
※前処理剤: 次の剤を使用する。

- ・クリザールプロフェッショナル100倍液
- ・美咲ファーム100倍液

①秋色アジサイは、花穂先端まで開花したものを切り、バケツ毎に花穂の大きさ、花色を揃える。

②採花は、夕方の涼しい時に行う。花茎長80cm程度に切り、上位葉2~3枚残して前処理剤で水あげする。

出荷



③出荷容器は、湿式のELFバケツ(以後、バケツ)を使用する。バケツに水2ℓと鮮度保持剤のT-Bagを入れ、30分程度放置する。

④花茎基部を前処理剤の中で切り戻し、花茎長70cmに調整し、輪ゴムで束ね、新聞紙で包む。

⑤バケツへ出荷規格に基づく本数を入れて出荷する。

○日持ち性について

・秋色アジサイは、栽培環境にもよりますが、10月中旬以降の採花や、満開後日数が経過すると水あげが悪くなり、日持ち日数が短くなる要因となるので、9月中の採花を目安とします。

・前処理材を使用することで、無処理と比べ2日以上日持ち性が向上するので、必ず使用します。



日持ち性調査の実施状況